

氏名	森光 康次郎 MORIMITSU Yasujiro
所属 職名	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 准教授
学位	博士（農学）（1992 名古屋大学）
専門分野	食品機能化学、食品分析化学、食品有機化学
URL	http://www.food.ocha.ac.jp/foodchem/foodchem.htm
E-mail	morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

食品機能性成分に関する研究
食用植物中の機能性含硫成分
野菜の消費拡大を目指した応用研究
酸化ストレスに関する基礎研究

Studies on Food Phytochemicals
Organosulfur Compounds in Edible Plants
Applied Studies on the Crucifer Vegetables
Studies on Oxidative Stress

主要業績

研究内容 / Research Pursuits

野菜を中心とした食品機能性成分を化学的に明らかにするとともに、その生理作用機構などを生化学的アプローチにて解析を行った。2009年度はアブラナ科野菜を中心に研究を進めた。特にダイコンの加工品への応用やベビーリーフ、ニンニクに関する研究について成果を蓄積できた。共同研究では香辛成分に関する研究（ミャンマーなど）を継続して行った。研究題目は以下の通りである。1. 食品機能性成分とその生理機能に関する研究 2. アブラナ科野菜に関する加工及び機能性研究 3. ミャンマー産食用植物の化学成分と機能性研究 4. 新野菜に関する共同研究 (その他、共同研究等による研究題目は秘密保持のため公開を全て省略する)

Chemistry and Biochemistry of the bioactive compounds in food stuffs have been steadily investigated. In 2009, studies on the crucifer vegetables, baby leaves and Allium vegetables were achieved well. Our research titles in 2009 were as follows: 1. Chemis

■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部教育においては、「基礎有機化学」と「食品分析化学実験」という基盤科目から「食品機能論」や「卒業研究」などの専門科目までを網羅し担当した。また、大学院教育では、「食品機能学特論」と「食品分析化学特論」（前期課程）、「食品生理機能学」、「食品生理機能学演習」（後期課程）を通し、一貫して食品の成分と機能性に関する専門知識、最先端の研究内容などを教え、食と健康科学の社会的必要性とその専門性が要求されている現状を伝えた。

From the fundamental subject "Fundamental Organic Chemistry" to the special subjects "Investigation for Undergraduates" were taught to undergraduates. Through the subjects "Chemistry and Functionality for Food Factors (master course)" and "Ideas of Fo

■ 研究計画

1. 食のおいしさを第一義とし、食の健全性を重視した上での新たな機能性研究分野のさきがけ的研究を試みる（つまり、おいしくて健康というイメージ）。2. 日本の野菜消費拡大を目指した野菜のおいしさ、成分化学的、そして生理機能的研究の展開と、実用化へ向けての応用研究（地域農産物の振興や新食用素材の開発）。3. ユニークな食品含硫成分の基盤的研究 4. においの生理機能研究 5. 酸化ストレスを介した生理機能性の二面性研究とその制御方法に関する基盤的研究

■ メッセージ

食べものの機能性研究は、身近な話題だけあって面白い科学研究の世界です(^)。正しい「食と健康」の在り方を考えてみましょう。また、日本の農産物生産と消費の将来を科学研究を通して元気づける方法は存在すると思っています。とにかく、食品成分に関する研究を一生懸命にやってみたい人、また食べ物が大好きな人をお待ちしてまーす。(^)/